

2020年10月2日 第3338回例会

於：メルキユーールホテル横須賀『パリ』



<点鐘・開会> 12:30 岡田 会長

<斉唱> 「君が代」「奉仕の理想」

<唱和> 「四つのテスト」

<ゲスト紹介> *米山奨学生 蔡 尚 佑 様

<誕生月祝> *鹿島 勇 (S22.10.7) *吉田 清 (S27.10.11)

*長谷川 誠 剛 (S44.10.14) *小林 康 記 (S24.10.16)

*濱田 惠 里 (S33.10.16) *高橋 秀 行 (S 4.10.20)

*小沢 一 彦 (S12.10.23) *町田 竜 五 (S28.10.24)

*小平 一 穂 (S33.10.28)

各会員

<入会月祝> ・小佐野 圭 三 ・飯塚 進一郎 ・織 茂 明 彦 ・外 木 祥 司

・根 岸 文 彦 ・物 井 宏 介 ・岡 田 英 城 ・平 松 廣 司

・山 田 晴 史 ・鈴 木 隆 裕 ・角 井 駿 輔

各会員

<会長報告> *2020-21年度ロータリー奨学金(グローバル補助金)申請者2名

*米山奨学生 蔡君へ奨学金授与

<委員長報告> *雑誌委員会 加藤 蘭 副委員長よりロータリーの友10月号

*出席委員会 小林(-)委員長より9月分出席報告 9月平均出席率76.04%

	会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メークアップ数	出席率
9月4日	116名	107名	76名(5名)	31名	6名	76.64%
11日	116名	104名	76名(8名)	28名	3名	75.96%
18日	118名	109名	81名(11名)	28名	5名	78.90%
25日	118名	106名	73名(6名)	33名	4名	72.64%

(7月80.66%・8月80.55%)

*杵渕会計担当より2020-21年度収支予算案について

*ローターアクト委員会 角井委員長より例会案内について

*記念誌委員会 物井委員長より70周年記念誌動画について

<幹事報告> *ロータリー米山記念奨学会より豆辞典 受領

*メルキユーールホテル駐車場連絡

<出席報告> *出席委員会 小林(-)委員長より10月2日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メークアップ数	出席率
117名	107名	83名(8名)	24名	0名	77.57%

<ニコニコ報告>

・上 林、飯塚、岡田、鈴木豊、澤田、勝間、根岸、

八 巻、藤村、齋藤眞、山下、西村俊、勝見 各会員

長澤淳夫さんの御冥福をお祈りいたします。

・田 邊、佐久間、高橋 倫、徳 永、福 西、齋藤眞 各会員

米山奨学生の蔡 尚佑さんようこそいらっしゃいました。例会を楽しんでください。

・三 役 米山奨学生 蔡 尚佑さん、昨晚の懇親会盛り上がりましたね。今日もよろしくお祈りいたします。

・佐久間、齋藤 倫 両会員 昨日は「米山奨学生の蔡 尚佑さんを囲む会」では、三役・米山委員会開催の皆様に変にお世話様になりました。

・吉 田、濱 田、高橋 倫、小 沢、小 平 各会員 誕生月祝いとして

・小佐野、飯塚、外木、根岸、物井、岡田、山田、角井 各会員 入会月祝いとして

- ・三 役、田中会員、本日の新会員卓話楽しみにしています。よろしくお願ひします。
- ・大 石、Loknath、猿 丸、立 石、後 藤、小山(働)、波 島、松本(働)、木 村、田 邊、川 出、田 村、小山(働)、小保内、加藤(働)、中 山、馬 場、鈴木(働)、大 竹、澤 田、植 田、小佐野、上 林、飯 塚、鈴木(働)、江 口、勝 間、前 川、三 堀、兼 城、小林(-)、杵 淵、八 木、福 西、長 尾、渡 邊、濱 田、野 坂、高橋(働)、齋藤(働)、前 田、齋藤(働) 各会員
田中賢一会員、本日の新会員卓話を楽しみにしています。
- ・田 中 会 員 石原さとみさん、ご結婚おめでとうござひます。心の灯がひとつ消えました。本日の卓話、拙い話ですがしばしお付き合ひください。
- ・若 松、角 井 両会員 石原さとみさんご結婚おめでとう。お相手は一般人とか？羨ましい！

<新会員卓話>

田 中 賢 一 会 員

皆様、こんにちは。

昨年8月に田邊様のご紹介で横須賀ロータリークラブに入会させて頂きましたNTT東日本の田中です。

私はここ横須賀の地は初めてで、着任に当たっては色々と不安もあったのですが、この一年を振り返ってみますと、コロナの難儀などはあったものの、良い人達に恵まれて充実して過ごしてきたと思ひます。

本日、新会員卓話で何を話そうかを考えたのですが、普段なかなかプライベートなことを話す機会もないので、本日は私の生い立ち



や趣味、家族のことを少し紹介させて頂き、「田中ってこういうヤツなんだ」という感じで自分のことを知って頂ければと思ひます。拙い話ですが、どうかしばしお付き合ひ下さい。

私は1967年1月、未年の生まれです。ただ、早生まれなので、年度で見ると一つ前の午年の方と学年が一緒になります。この年は丙午にあたるため、私の学年は前後より若干人数が少ないと言われてひます。

次に出身ですが、実は「出身は？」と聞かれると若干戸惑うところがあります。と言うのは、生まれたのは東京都板橋区の病院ですが、当時父親の仕事の関係で首都圏の社宅を3年ほど転々としてひました。たまたま生まれた時に板橋区にいたという訳です。その後、3歳から6歳の時までは家族とともにメキシコシティで幼少期を過ごしました。幼稚園の制服を着た写真がこちらになりまして、面影が残っていると言われます。言葉を覚え始めの頃だったので割と難なく周囲のメキシコ人に溶け込み、幼児語ながらスペイン語と日本語のバイリンガルだったらしいです。6歳で日本に帰国しましたが、まだ小さかったためメキシコで普通に喋っていたスペイン語は綺麗さっぱり忘れ去りました。帰国後1年ほどして、7歳から横浜北部の日吉、正確には日吉からバスで山の中へ20分ほど入ったところで過ごしました。途中転勤等で一時的に一人暮らしをしたものの、以後ずっと日吉の山奥をベースとし、結婚した後もそこから車で10分程度の綱島に住んで現在に至っています。出身の話に戻りますが、こうなると出身はどうなるのかと…。「出身はメキシコ」なんて言うのと誤解を招きかねないし、とりあえず一番長く住んでいる「横浜市」と答えるようにしてひます。

そのちょっと怪しい出身地を離れたのは、まず平成元年にNTTに入社し最初に新潟県柏崎市に配属になった時です。後ほど趣味の話で触れますが、ここで過ごした3年間はスキーにのめり込みました。それからこんなこともありました。柏崎には東京電力の原子力発電所があるのですが、うちの会社の労働組合が原

発反対の政党を応援していて、当時新入社員だった私も時折組合の動員に駆り出されました。原発に核燃料がトラックで搬入される時があるとデモ隊に参加させられて「原発反対〜っ!」「東電は柏崎から出て行け〜っ!」という感じでやるんですね。TVカメラも来て、「ああ、こんなところがTVに映って親が見たら何と思うだろうか」と怯えて隅っこで小さくなっていました。まあ、石を投げたり火炎瓶なんかは使わず、パトカーに守られた形式的なデモ行進ではあったのですが。本日ご本人はいらっしゃらないのですが、昔のこととは言え梁井さんのお仕事を邪魔していたんだなと…。今になって深く反省しています。それで、デモの翌日に先輩と一緒に原発に営業に行くと、前の日は隣で「東電は出て行け〜」と大声で叫んでいた先輩が「あ、どうも東電さんにはいつもお世話になっています」なんて感じでニコニコ挨拶しているんですね。大人の世界というのを勉強させて貰いました。

3年間柏崎で勤務した後に東京に戻り、2回目に横浜の実家を離れたのは私が28歳の時です。若手社員向けの海外研修で1年間ロンドンに行くことになったのですが、ロンドンで1年間の研修期間が終わる頃にちょうどNTTが海外事業に参画するぞという話が持ち上がり、海外駐在スタッフが不足するので「お前はそのままあと2年残れ」と言われました。当時私は独身で、海外研修前から付き合い始めていた彼女がいました。ロンドンに行く前には「1年間待っていて欲しい」と告げていて、帰国したら付き合いを続けるつもりでいました。ところが急に帰国できないことになっちゃいました。元々1年間限定の海外生活が前提だったので、本格赴任に向けた準備ということで1週間だけ一時帰国させて貰いました。その1週間で必要な準備を全部するんですね。生活用品の買い足し等もあったのですが、彼女のことでも何とかしなくては何と。まだ親にも何も話していなかったのですが、その1週間の中で彼女にもプロポーズすることにしました。4月頭の東京の千鳥ヶ淵ですね。桜の名所なんですけど、時節柄一面満開で、さらに当日は神様も味方してくれたのか、うらかな春の日差しっぱいの気候というこれ以上ないシチュエーションでプロポーズということになった訳です。そんな満開の桜の中で、自分独りだけ桜が散りました。やはり仕事でも何でも段取りとかコツコツ積み上げるって凄く大事で、そういうのをすっ飛ばしていきなり大きな成果を得ようとしてもダメなんだなと。身に染みてわかりました。

翌日のロンドンへの帰りの便は、12時間身動きが取れない飛行機の中でひたすら悶々としていました。ロンドンに着いたら着いたで、事情を知っている会社の人や友人達が口々に「田中ちゃん、どうだった? 上手く行った?」と聞いて来るんですね…。期待感は凄く伝わってくるのですが、結果的には傷口に次々と塩を塗り込まれているだけだったなと…。それでも今となってはプロポーズで断られるという滅多にない経験を積んで人生の糧になったと思っています。

ロンドンではその反動というか気分転換の意味もあって、ちょっと無理して家族持ちが住むようなマンションに一人で住んでいました。思えば入社当初はボロボロの寮の3畳一間の部屋に住んでいたのですが、その時と比べると、ゲームで言えば「一気にステージが上がった」、戦国時代なら「足軽から侍大将になった」という感じですが、住環境についてはその後今を含めて考えても、このロンドンの時が一番のピークだったんじゃないかと思えます。

そんな感じで3年間過ごして帰国した後、東京で20年強、公共機関や企業のオンラインシステムの営業を担当し、その間に今の妻と知り合って一人娘も生まれました。昨年横須賀支店に着任して1年が経ちました。自分の中ではまだ横須賀でのエピソードは少ないのですが、冒頭お話したように充実した毎日を送っており、将来的にはこのロータリークラブでの活動も含めて大切な経験になると思っています。

少し経歴から離れて、私の趣味の話をしていきます。最近ご無沙汰のものもありますが、テニス、ピアノ、スキーの3つです。まず、テニスは社会人になってから始めました。40過ぎになって地元で開催される試合に出るようになったのですが、とにかくハートが弱いです。一応長年やっているのですがフォームはそれなりに綺麗なのですが、試合になるとボロボロで本当に弱いです。次にピアノですが、小学2年生から始めて、途中受験で中断しながらも21歳まで習い続けました。その後先生にはついていませんが、ピアノに向かうことが息抜きで時間がある時に適当に弾いており、一生の趣味になっているのかなと思います。これも長くやっている割に腕前は上がらず、所謂基本と言われるクラシック分野の教材は昔も今もあまり上手に弾けません。高校生の頃に「いつかは弾けるようになりたい」と思っていたベートーベンやショパンなどの曲は、数十年経った今でも「いつか弾きたい」と思って弾けないままです。でも、「夢を持ち続けている」と自分には言い聞かせて誤魔化しています。最後のスキーは新潟勤務の3年間でのめりこみました。車で1時間半くらいでどこのスキー場にも行けたものですから、同年代の友達と毎週出かけていました。凝り性なも

のですから検定にも挑戦しました。1級の試験は受けても受けても落ちて、それでも意地になって全部で7回～8回受けたでしょうか。何とか2年越しで取ることが出来ました。もしかすると人生で一番がむしゃらになっていたかも知れません。実は、1級の上に指導員やテクニカルプライズというさらに上の資格もあります。一度この上級資格の検定試験を見かけたのですが、明らかに自分より上手い人達がコブコブの凍った急斜面を猛スピードで滑っては次々と空中に放り出されてそのまま「はい、さよなら～」と散って行く。要求レベルの高さに「ここはもう私なんかが行ってはいけない」と、上を狙うことを諦めました。

最後に、私の家族を少し紹介させていただきます。妻と、中学3年生になる長女の3人家族で、一緒に綱島で暮らしています。私は結婚も子供が産まれたのも結構遅かったこともあって娘には非常に甘いです。その昔、あまりに娘にデレデレする姿を職場の仲間に見られて、「田中さんって『親バカ』を超えて『バカ親』の域ですよ」と言われました。10年前の写真ですが、確かにバカ親ですね。

ちなみに妻に対してはあまりデレデレしないので、「どうせ釣った魚には餌を与えないもんね」とよく不平を言われます。結婚10周年を控えた時に、妻は10周年のプレゼントにダイヤモンドが3つ並んだペンダントを欲しがっていました。ある晩、「いくらまで買ってくれるの？」と予算を聞かれ、何となく金額を口にしたら翌日には妻が自分ひとりで高島屋に行って予算内ギリギリのダイヤモンドペンダントを買ってきました。この時は妻の行動力に驚かされました。来年結婚20周年になりますが、予算の話は軽々しく言ってはいけないと肝に銘じています。

娘は最近生意気な口をきくようになり、甘えるのは大抵何か欲しい時です。幼稚園からピアノを習っており現在も続けています。通っているピアノ教室で1年半おきに発表会があるのですが、そこでは本人のソロ演奏以外に親兄弟等と連弾するコーナーがあって、私はそれを楽しみにしています。小1→小3→小4とは順調に連弾をしたのですが、小6は受験でお休みしました。受験明けの中1での発表会は、「さあ頑張るぞ」と意気込んだのですが、娘から「別にお父さんと弾かなくてもいい」と言われてしまい、あえなく流れてしまいました。年頃の娘は難しいですよ。最近では先月発表会があり、騙し騙し練習を一緒にやって何とか無事に終えることができましたが、今後はどうなるかわかりません。どなたか、年頃の娘さんとこんな風に付き合っ上手くいったとか、逆に女性の方で、お父様との接し方の体験談があればぜひ教えてください。まあ、いろいろありますが、家族はそれなりに仲良く過ごしております。

私のプライベートというところな感じになりますが、そろそろお時間がよろしいところでもありますので、これで本日の私の自己紹介卓話を終了させていただきます。どうぞ皆様今後ともよろしく願いいたします。

皆様、本日はご静聴ありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:30 岡田 会長

週報担当 田村 督